



西中だより

令和4年3月25日(金) 第13号

鹿児島市立西紫原中学校
学 校 だ よ り

【教育目標】自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】先手あいさつ

同窓会入会式を通して

卒業式の前日、毎年恒例となっている同窓会入会式を行いました。本校は昭和54年に開校し、昨年度までの42年間で9678人の卒業生を送り出してきました。保護者の方の中にも本校の卒業生という方が大勢いらっしゃると思います。この会の中で、同窓会長や第7期のOBの方が開校当時のエピソードやお祝いと激励のメッセージを話してくださり、3年生は西中の卒業生であることに誇りをもち、夢と希望をもって新しい道に進んでいこうという決意を抱くことができたようでした。



義務教育を終了することで、それぞれが自分の生きる道を自分で選択し、新しい道に踏み出していくこととなります。しかしながら、同じ中学校でともに学んだというつながりは切れるものではありません。卒業生に話をしましたが、同級生という横のつながりだけでなく、これまでの卒業生である先輩や後輩との縦のつながりも大切にしていきたいと思います。ふとしたときに、そのつながりが自分を支えてくれたり、助けてくれたりするものです。そのことを改めて意識できる機会となりました。

新たな出会いを 自分の成長に生かして

第43回卒業式を3月15日に行い、本日3月25日に修了式を行いました。いよいよ今年度の教育活動が終わりとなりました。

1年を振り返ると、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年でした。学校行事等では、1年生の集団宿泊学習や3年生の職場体験学習、10月に予定していた合唱コンクールなど貴重な経験のできる行事等を中止せざるをえませんでした。一方で、時期を変更し、体育大会や2年生の修学旅行は実施することができました。折に触れて話したり、書いたりしてきましたが、生徒の持つ力には素晴らしいものがあります。このような状況下でも、できることを見つけ、多くの活動を感動できるものに仕上げてくださいました。今年度の教育活動は終了し、卒業生は次の新しいステージで、在校生は新2年、新3年に進級し、新たな友達や先生方との出会いが待っています。そして、忘れてならないのは、新たな自分との出会いです。皆さんが、成長した新たな自分と出会えるように、充実した令和4年度となることを祈念いたします。

最後になりますが、本校の教育活動に対し、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力を賜りましたことに、校長として西紫原中学校の教職員を代表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。